市報 とおかまち

（昭和32年6月5日第3種郵便物認可）　定価一部 5円　毎月 15 日発行　発行所 十日町市役所

1 月　第182号

人口	
男	23,988
女	26,071
計	50,059
世帯数	10,890

市長 春日由三
助役 小川彦一郎
収入役 高木佐五郎
市議会議長 石坂正隆
市議会副議長 丸山尚政

賀正

’冬の日ざしのなかで、こどもたちは元気に遊びまわっている。…

1972 伸びゆく十日町市

地場産業振興に努力

市民のみなさま、明けまして おめでとうございます。

昭和四十七年の新春を迎えつつしんで年始のごあいさつを申し上げます。

私は、市政各位の暖かい支援により市政を担当させていただいて初めての正月だけに、大きな責任の重大さに身のひきしまる思いで新年を迎えました。

一九七二年、昭和三年日本迎え、日本は不安定な社会から、人間性の回復をめざす社会に大きくうつりかわろうとしています。

ところでなにかって、新市制の発足をキッカケとして、地方自治の拡大やキャッチフレーズの発展により、広域的なまちづくりが強く求められています。

木川は、昨年七月合併から、ど、幾多の問題が山積しており十日町地域広域市町村圏に指定されて、現在その計画を鋭意進めていますが、今後近隣市村との交流を深め、手をとりあって、新しいまちづくりをみなさんとともに考えていきたいと考えております。

さらに、昭和六十年後の都市計画の基本方針に関する総合計画も現在、市民の皆様に諮問中であります。

これに加えて昨年来の経済不況ムードは、当市にとってもこの影響を受け、主要産業である繊維などにかってないきびしいものがありました。

これに対処し、市民の期待に答えるためには行政面も計画的、効率的に運営することとも市政運営の向上を期待に考えた「市民しあわせ計画」として施策を引き出し、市民のみなさんが日頃に住むことに誇りをもてる郷土づくりを進めていきたいと思います。

市の現状をみますと、山間地における過疎問題、市街地における公害問題、交通安全対策など、幾多の問題が山積しており、これらの問題に対処するためにも、市民の参加などにつとめたいと存じます。

具体的には、道路交通網の整備、教育文化の向上、きめ細かい福祉行政の推進などを重点に、また繊維対策や公害防止などの施策を積極的に押し進め、零細商工業者に対する指導、援助など住民本位の行政を行なう所存です。

本年は特に地場産業の発展と市民の幸福につながるものと考え、その振興策に一段と努力いたしたいと存じます。

このほか都市機能の整備、商場山業開発計画に関連する交通源の確保の問題、観光開発、農業開発などについて、ひとつひとつ真剣にとりくんでまいりたいと思います。

わたくしは、市民のみなさんがこのまちの暮らしに誇りと愛着を感じられるような市にするため、市民のみなさんとともに全力をつくしてまいる所存ですので、一層のご支援と協力をお願いいたします。新しい年のはじめにあたり、市政の限りなき発展と、五万市民のしあわせを心からお祈り申しあげ、ごあいさつといたします。

新春を迎えて

十日町市長　春日由三

下水道事業を推進

昭和四十七年の新春を市民の皆様と共に迎え喜んでおりますことを申しあげます。

昨年は八月末に突如として巻き起った経済混乱は、わが国民経済に大きなショックを与えたばかりでなく、世界の通貨体制にも大きな打撃をあたい、昨年十二月二十日世界の通貨調整はようやく収束を見ましたが、日本経済は変化のテンポがあまりに速かっただけに従来から問題のまた完全に解消をみないうちに、それと折り重なるように形で次の問題があとからあとから襲いかかって来ています。

このような事情下において本年はまことのたたかいや、地元産業の発展と市民一丸となってこれに対処しなければならない時期でもあります。

道路網の整備は、自動車の普及を促進し、市民一体の交通事故防止運動にもかかわらず、事故数は一層増大しています。

この面についても精一杯の研究と努力をいたさなければならない年です。

雪害問題は市街地での除雪道はようやく軌道にのった現状でありますが、一歩郊地へ入りますと無雪道どころか、道つけも満足にしておるところが多いのでございます。

これ等美観の対策を積極的に進め解決を正に努力し、めぐまれない地域の人達の期待に一日も早く答えなければなりません。

本年は公害審査会が設置されてから五年目を迎え、公害問題も調査機関から実施機関に入り、市民各位の協力と積極的な参加と共に解決に努力しなければなりません。

農業における国内生産を主体とした農業から、世界食糧を見通した農業へと事態は大きく転換し、古い時代の小規模農業から、協業化を主体とした大規模農業へと構造の改善が望まれております時、広大な未利用地の開発を目的とする苗場山麓総合開発の促進をはかり、経済の変動にゆるがない農業基盤を確立しなければなりません。

本町通り区間国道の改良とともに近代化と商店街が生まれ、一日も早く都市環境の整備をはからなければなりません。

しかし将来計画を完備した商店街でなければ活気の要請を充分みたすことは不可能であります。

本町通り区間国道の改良とともに近代化と商店街が生まれ、一日も早く都市環境の整備をはからなければなりません。

農業における国内生産を主体とした農業から、世界食糧を見通した農業へと事態は大きく転換し、古い時代の小規模農業から、協業化を主体とした大規模農業へと構造の改善が望まれております時、広大な未利用地の開発を目的とする苗場山麓総合開発の促進をはかり、経済の変動にゆるがない農業基盤を確立しなければなりません。

本町通り区間国道の改良とともに近代化と商店街が生まれ、一日も早く都市環境の整備をはからなければなりません。

しかし将来計画を完備した商店街でなければ活気の要請を充分みたすことは不可能であります

雪上舞台は"雅の苑"
雪国の街広場を開設
第23回雪まつり

第二十三回雪まつりは二月十二日（土）十三日（日）の四日に決定。雪まつり委員会は去る十一日から開工福祉会館三階に事務局を開設し、雪まつりの準備体制に入っています。

今回の雪まつりは「明るく楽しく美しく」をテーマに行なわれ、雪上ガーニバル、雪の芸術展などのほかに、十日町高校グランドに雪国の街広場の開設など新しい企画が予定されています。

この広場は中央ステージで郷土芸能や歌ごえなどの交流、ふるさとの味コーナーの開設、県外青少年との交換会や雪のミニ作品の共同製作などが行なわれます。

雪上ステージは、京都の御所造りと優雅な庭園をアレンジした「雅の苑」に決定。巾五十尺高さ十五尺奥行四十尺の華やかな雪上舞台を業界一氏に製作することになりました。

十二日の雪上ガーニバルは地元選出モデルによる雪物ショー、民踊などが繰りひろげられ、アトラクションとして朝臣踊と佐川囃子（綾合同会代表）と対談（十日町織物と十日町）や白太夫舞踊などが予定されています。

多数の参加を
雪の芸術展

雪まつり委員会は今年も雪の芸術作品展に多数の参加を望んでいます。

また本年も飯山居鶴の学童軍慰問や、チンコロ市、市民音楽祭、文化講演会なども予定されています。

なお札幌オリンピックに協賛一月二十六日の札幌雪まつり特設ステージで十日町市のショーを行なう予定です。

新民生児童委員がきまりました

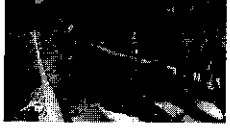
十二月一日からうぶの方々が十日町市の民生児童委員に委嘱されて、今後民生関係の相談に応じます。

◎部＝市代表総務　○印＝地区代表総務

◎服部慶円、猪水喜三、田村巧三、横津モト、高橋弟助、井口鉄三、根津富、渡辺良、酒井梅子、植木正太郎、荷木英次郎、渡辺市松、鹿野勝治、青柳標重、田良平、久保田徳作、大庫金治、水落茂太郎、池庄福栄○近藤栄太郎、水落敬作、藤田つね子、植田芳次、富沢福子、関口キイ、長沢マツ、金子マス子、藤井モト、高橋弟助、井口鉄三、根津富、渡辺良、酒井梅子、植木正太郎、荷木英次郎、渡辺市松、鹿野勝治、青柳標重、田良平、久保田徳作、大庫金治、水落茂太郎、池庄福栄○近藤栄太郎、水落敬作、藤田つね子、植田芳次、富沢福子、山口誠一、小林昌平、水落トミ、水落長平、柳沢作、福井信司、春日社一郎、太田健一、横登久治、尾身与○桑原勝利、吉沢シン、村山スミ、須藤スマ○竹内義、岡村作、高橋勝作、桑原作、田村貫一、南雲忠治、村山常太郎、田川正三、横貞太郎、福沢慶太郎、猪狩市太郎、林福市、富井英治、鈴木正吉、○上村順平、雲田つね子、佐藤重夫、井口一郎、金子一枝、村山行作、保坂良平、高沢金作、

山谷地区に融雪道路

山谷部落は市道山谷高城沢線（山谷地内）を融雪道路とするため、工事を進めていましたが、このほど延長150㍍の融雪道路が総工費200万円（市補助2分の1）で完成しました。これは道路の両側に高さ5㍍㍍の縁を設け、側溝の水を流すもので、この融雪道路は市で初めての試みでもあり、今冬の成果が期待されています。融雪道路は常時水を道路上に流すため、自動車等の通行で歩行者に飛散させることも考えられますので、運転者は歩行者とのすれ違いの際は徐行するなど注意してください。



1月休日当直医

16日　中条病院　電話 7－3018番
23日　池田医院　本町西　電話 2—2581番
30日　山口医院　袋町中　電話 2—2174番

●おしらせ●おしらせ●

—ご協力に感謝—
赤い羽根共同募金

■赤い羽根共同募金は皆様の暖かいご同情と深いご理解により、つぎのとおり目標額を達成しました。紙上より厚くお礼申し上げます。

	目標額	納入額
戸別募金	1,908,000円	1,954,042円
法人募金	900,000円	1,059,100円
学校等募金	5,500円	215,763円
計	2,863,000円	3,228,905円

住みよい社会をつくる簡易保険

1月10日から3月31日までは住みよい社会をつくる郵便局の簡易保険新加入運動実施中です

連絡もれの方はお申し出を
新入学児童の健康診断

本年4月から小学校へ入学を予定されている新入学児童は、すでに各小学校を通じ就学前の健康診断も終えております。

最近転入された方で住民登録をされていない方、または連絡がない方は至急市教委までお申し出ください。

新年度入学される児童の生年月日は、昭和40年4月2日から昭和41年4月1日までの方です

旧軍人の一時恩給など支給範囲を拡大

旧軍人の一時恩給（一時扶助料）などの支給範囲が拡大されました。

つぎに該当する方は市社会福祉事務所におたずねください。

1. 地域加算（抑留加算）を算入しても、恩給最低年限に達しない人に、戦地外職務加算や各種職務加算の算入を認めます。
2. 引き続いて3年以上7年未満の軍人在職者で下士官以上としての在職年数が1年以上の人に一時恩給を支給（46年10月1日現在共済組合員も請求権がある。）
3. 戦犯拘禁期間の通算制限の撤廃
4. 外国政府職員の抑留期間を通算
5. 外国政府職員などの在職期間の通算条件を緩和
6. 職務に関連した傷病者（本邦などにおいて昭和16年12月8日以降の傷病者が該当）に特別傷病恩給を支給

公衆電話の故障続出☆

雪のシーズンになるとぬれた硬貨を使用されるかたが多くなるため故障が続出して他のお客様にも迷惑となりますのでぬれた硬貨の使用はご遠慮くださるようおねがいします。

（十日町電報電話局）

市奨学金貸与者を募集

市教育委員会は昭和47年度奨学金貸与者をつぎのとおり募集しています。

応募要領等くわしいことは、市教委庶務課または在学中学校、高等学校にお問い合せください。

■奨学金の額　高校、高等専門学校一月額3,000円、大学一月額6,000円
■応募資格　学校教育法に規定する高校、高等専門学校、大学に在学するもの又は進学しようとするもので (イ)市内に3年以上居住する世帯の子弟 (ロ)学業成績が優秀と認められるもの (ハ)経済的理由で学資の支弁が困難なもの
■応募締切り　2月末日（市教委必着のこと）

電話番号が変更

1月14日から土市、下条局がダイヤル式に切り替えられたため、つぎの出張所の電話番号が下記のとおり変更しましたのでお知らせします

下条出張所　十日町局 (5) 2004番
水沢出張所　十日町局 (8) 3101番

寄付ありがとう

■坂田領　10万円　身体障害者（児）へ寄付
■昭和町福島小四郎30万円　社会福祉事業寄付
■吉田北部民踊同好会会長児玉康治　5,000円
コロニーの皆さんに

歳末たすけあい寄付金

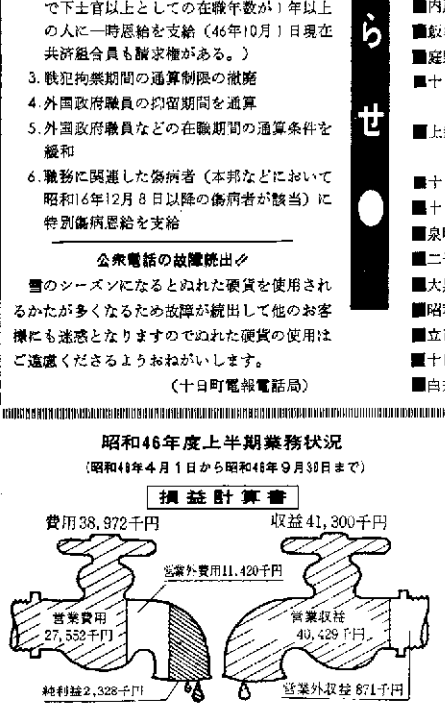
■十日町実業高等学校生徒一同　69,163円
■関芳織物株従業員一同　14,660円
■十日町青年会議所　12,100円
■十日町北ロータリークラブ　16,475円
■青春をみる会　18,385円
■内藤直義（うと木）　1,000円
■飯林織物株式会社従業員一同　20,448円
■庭野日敬　100,000円
■十日町小1年　樋口広美、庭野恵理子、春日真弓　2,500円
■上新田簡易保険組合代表近藤静江　3,000円
■十日町地区同盟青婦会議　99,300円
■十日町地区許青婦協　65,556円
■泉町庭野貴美子　1,105円
■二子水落賀一　1,000円
■大黒沢村山慶治　1,000円
■昭和町1庭野みよの　1,000円
■立花仮成会十日町支部　25,209円
■十日町ライオンズクラブ登坂行雄35,727円
■白井敏夫　10,000円

水道事業のお知らせ

■昭和45年度の決算状況と昭和46年度の上半期の業務状況をお知らせします。
■昭和45年度は第2期拡張事業が完成し、給水人口は30,168人、有収水量2,256,017立方にとなり決算において 5,541,672円の純利益を上げました。
■昭和46年度の上半期の業務状況は前年度に引き続き企業の健全経営に努めています。
■第1水源地整備工事、田川南線配水管布設工事等の施設改良工事を推進しております。
■これ等の建設工事中は何かとご迷惑をおかけしていますが、ご協力をお願いします。

昭和46年度上半期業務状況
（昭和46年4月1日から昭和46年9月30日まで）

損益計算書



昭和46年度上半期給水業務量の状況

区分		昭和46年度	昭和45年度	比較 増減	比較 比率
給水戸数(戸)		6,503	5,765	738	12.8
配水量	総量(㎥)	1,873,290	1,707,111	166,179	9.7
	一日最大(㎥)	14,409	12,225	2,184	17.9
	一日平均(㎥)	10,237	9,278	959	10.3
有収水量(㎥)		1,310,103	1,187,957	122,146	10.3
有収量(率)		69.9	69.6	0.3	0.4

昭和45年度決算状況
昭和45年度水道事業損益計算書
（昭和45年4月1日より昭和46年3月31日まで）　単位円

費用 科目	費用 金額	収益 科目	収益 金額
営業費用	48,279,843	営業収益	71,269,218
営業外費用	20,040,066	営業外収益	2,592,363
小計	68,319,909		
当年度純利益	5,541,672		
合計	73,861,581	合計	73,861,581

昭和45年度水道事業貸借対照表
（昭和46年3月31日現在）　単位円

資産 科目	資産 金額	負債及資本 科目	負債及資本 金額
固定資産	427,255,336	固定負債	6,826,838
流動資産	32,212,772	流動負債	215,317
繰延勘定	183,000	資本金	443,733,288
		剰余金	8,875,665
合計	459,651,108	合計	459,651,108

昭和45年度水道事業剰余金処分計算書
（昭和46年12月6日議決）

1. 当年度未処分利益剰余金		5,816,729円
2. 利益剰余金処分額		
(1) 減債積立金	4,677,508円	
(2) 建設改良積立金	1,000,000円	5,677,508円
3. 翌年度繰越利益剰余金		139,221円

昭和45年度給水業務量の状況

区分		昭和45年度	昭和44年度	比較 増減	比較 比率
給水戸数(戸)		6,378	5,617	761	13.5
配水量	総量(㎥)	3,467,156	3,108,808	358,348	11.5
	一日最大(㎥)	12,225	12,349	△124	△1.1
	一日平均(㎥)	9,499	8,517	982	11.5
有収水量(㎥)		2,256,017	2,030,352	225,665	11.1
有収量(率)		65.1	65.3	△0.2	△0.3